

序章

文化史の視角——日本語とは何か…………… 9

- 一、日本語といえば日本の国語?…………… 12
- 二、漢文は国語か?…………… 15
- 三、日本語は習得に時間がかかる?…………… 18
- 四、ウマの語源は?…………… 22
- 五、日本語には主語がない?…………… 25
- 六、日本語は主語があいまい?…………… 29
- 七、日本語は自然と人間を重ねあわせる?…………… 32
- 八、ヤマト言葉に日本人の心が宿る?…………… 37
- 九、日本人は自然と一体になって生きてきた?…………… 43
- 一〇、日本語のあいまいさに悩むのは誰か?…………… 46
- 一一、あいまいさは日本語の力?…………… 49
- 一二、日本文学とは何か?…………… 52

第一章

日本語——そのはじまりを考える…………… 59

- 一、言語とは何か?…………… 61
- 二、ヤマト言葉は誰のものか?…………… 65
- 三、ニッポンとニホン、どちらが古い?…………… 71
- 四、卑弥呼はヒミコか?…………… 74
- 五、日本語のルーツがわかった?…………… 77
- 六、邪馬台国はどこか?…………… 80
- 七、氏族は天からの渡来人?…………… 84
- 八、スサノオとオオクニヌシは親戚?…………… 88
- 九、訓述とは何か?…………… 92
- 一〇、日本人は早くから日本語を書く努力をした?…………… 98
- 一一、「日本書紀」はヤマト言葉で読むのが正しい?…………… 104
- 一二、歌とは何か?…………… 106
- 一三、「万葉集」は万葉仮名で書かれている?…………… 111
- 一四、人麻呂が命の意味を変えた?…………… 116
- 一五、日本語の書き方の原型をつくった人は?…………… 120

第二章

王朝文化——バイリテラシーの定着…………… 123

- 一、漢字の読みが複数になった理由は?…………… 125

二、いろは歌と五〇音図の関係は？……………129

三、カタカナは一音一字、ひらがなは二音多字？……………134

四、漢詩文の隆盛が国風文化を招いた？……………137

五、女もすなる漢文日記？……………140

六、女手日記のジャンルは？……………145

七、道長の言語生活は？……………150

八、私史を正史に？……………154

九、笑い話も比叡山から？……………159

一〇、なぜ、硯にむかうのか？……………163

一一、狂言綺語こそよく響く？……………166

一二、歌道はもうひとつの出世の道？……………173

一三、史実にもとづく虚構とは？……………180

第三章 武家政治——言葉の秩序と叛乱……………185

一、うたい文句は道理と無私？……………188

二、マコトの誕生？……………191

三、「太平記」は歴史か文学か？……………194

四、武士道は近代の発明？……………198

五、戦国ルポルターージュとは？……………202

六、口語体の季節はいつから？……………208

七、口語体を支えた思想は？……………214

八、革新思想は古代にむかう？……………221

九、言葉遊びは不易流行？……………226

一〇、旧仮名遣いは流行らなかつた？……………238

一一、ヤマト言葉も発明された？……………235

第四章 帝国秩序——言葉の叛乱と変容……………245

一、どのような言葉の制度がつけられたのか？……………248

二、訳語には危険が潜む？……………254

三、国語、国字改革はなされたか？……………259

四、言葉の改良が目指した先は？……………262

五、言文一致は文体革命だったのか？……………267

六、言文一致は庶民から？……………271

七、生命の表現とは何か？……………276

八、日記が芸術になつた？……………281

九、都市の変貌がもたらした言葉の変化は？……………285

一〇、日本語が海を渡つて起きたことは？……………292

一一、言論統制も時々刻々変化した？……………296

一二、GHQの検閲で日本人が活躍した？……………304

一三、日本語はローマ字表記になりそこねた？……………309

一四、日本語論の行方は？……………315

あとがき……………321

主な参考文献……………324

序章 文化史の視角——日本語とは何か